

法蔵館書店ニュース10月

目次

話題の本 P1
 法蔵館新刊案内 P2~3
 法蔵館重版案内 P3
 法蔵館刊行予定案内 P3~4
 法蔵館書店新着案内 P4~11

特集1:智慧の扉をひらく
 ー仏教の力で明日を生きるー P12~13
 特集2:「正倉院展」を楽しむために P14
 お知らせ P15
 法蔵館書店ベスト10・
 メール配信サービスご案内 P16

★お知らせ★10、11月の書店休業日

10月のお休み:5日・12日・19日・26日

11月のお休み:2日・9日・16日・23日・30日

話題の本

●文化時報(2025/9/19)・●中外日報(2025/9/12)
 ●比叡山時報(2025/8/8)
 『比叡山延暦寺僧墓総覧 全3巻』
 小川善明著・B5判・1228頁・93,500円
 ISBN:978-4-8318-7793-2

●中外日報(2025/9/12)
 『八坂神社日誌 第一巻』
 祇園社務家日記(慶応四年〔明治元年〕)
 社務所日誌1(慶応四年〔明治元年〕~明治三年)』
 八坂神社文書編纂委員会編・A5判・270頁・9,900円
 ISBN:978-4-8318-5351-6

●月刊京都 10月号(2025/9/10)
 ●朝日新聞(2025/8/11)
 [法蔵館文庫]『増訂 京都地蔵盆の歴史』
 村上紀夫著・文庫判・304頁・1,320円
 ISBN:978-4-8318-2701-2

●書標 9月号(2025/9/5)・●中外日報(2025/8/22)
 [法蔵館文庫]『鎌倉仏教の中世』
 平 雅行著・文庫判・298頁・1,320円
 ISBN:978-4-8318-2695-4

●中外日報(2025/9/5)
 [法蔵館文庫]
 『宙空に立つ塔一塔の想像力と存立地平』
 本間邦雄著・文庫判・344頁・1,540円
 ISBN:978-4-8318-2700-5

●中国新聞[朝刊](2025/9/1)
 [大正大学総合仏教研究所叢書38]
 『読んで観て聴く 近代日本の仏教文化』
 森 覚・大澤絢子編・四六判・400頁・2,200円
 ISBN:978-4-8318-5584-8

●歴史評論 9月号(2025/9/1)
 『近代日本の思想変動と浄土真宗
 一教化・連帯・転向』
 佐々木政文著・A5判・418頁・7,150円
 ISBN:978-4-8318-5579-4

●中外日報(2025/8/29)
 『近代日本の仏教思想と〈信仰〉』
 呉 佩遥著・四六判・264頁・3,300円
 ISBN:978-4-8318-5588-6

●新宗教新聞(2025/8/29)
 『森岡清美の宗教社会学一その検証と継承』
 大谷栄一・寺田喜朗編・四六判・348頁・3,520円
 ISBN:978-4-8318-5728-6

●読売新聞(2025/8/17)
 [法蔵館文庫]『女の信心一妻が出家した時代』
 勝浦令子著・文庫判・320頁・1,540円
 ISBN:978-4-8318-2703-6

●月刊larecole 241号(2025/8/13)
 [法蔵館文庫]『きもの』
 瀬川清子著・畑中章宏解説・文庫判・320頁・1,540円
 ISBN:978-4-8318-2702-9

●地方史研究 8月号 436号(2025/8/11)
 『文化財の誕生
 一寺宝の整理と継承の歴史的変遷』
 田中直子著・A5判・416頁・9,350円
 ISBN:978-4-8318-6335-5

●御堂さん 8月号(2025/8/1)
 『広島戦災児育成所と山下義信
 一山下家文書を読む』
 新田光子著・A5判・256頁・3,080円
 ISBN:978-4-8318-5566-4

法蔵館文庫

◆安芸厳島社

【日本史／神道】

松岡久人著・秋山伸隆解説・文庫判・296頁・1,540円
ISBN:978-4-8318-2710-4

日本三景の一つ安芸の宮島の厳島神社。原始から中世末までの歴史・文化を丁寧に解明。厳島を深く知るための必読の書。

■目次

安芸厳島社点描

- 一 古代社会と厳島
- 二 平氏の厳島信仰
- 三 藤原神主家の登場と社殿の造営 ほか

ためし読み



◆千のことば、一つのころ

【仏教】

——薬師寺と土がつなぐ縁

加藤朝胤著・四六判・132頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-5736-1

薬師寺管主がつむいできた千文字法話から薬師寺についてもっと詳しくなれるお話を一書に。またご縁のある陶芸家五名との対談を収録。

■目次

- ご縁の話 茶道裏千家家元 千 宗室
- 私の歩いた道
- 責任ある立場に就任して
- 薬師寺の使命
- 金堂再建への道(前編)

ためし読み



◆生きる ただ生きる それで良し

【仏教／エッセイ】

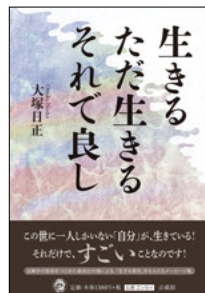
大塚日正著・四六判・240頁・1,650円
ISBN:978-4-8318-5739-2

この世に一人しかいない「自分」が、生きている。それだけで、すごいことなのです！ 法華宗の管長をつとめた最高位の僧による、「生きる勇氣」をもらえるメッセージ集。

■目次

- 第一章 生きるということ
- 第二章 老いるということ
- 第三章 病むということ
- 第四章 死ぬということ

ためし読み



◆唐代宗教思想史研究

【中国思想】

坂内榮夫著・A5判・456頁・8,800円・ISBN:978-4-8318-5742-2

唐代道教の未開拓分野を切り開き、文献に対する緻密な考証を通じて仏教と道教が互いに影響し合い展開してきた情景を照らし出す。

■目次

第一部 唐代道教思想史研究

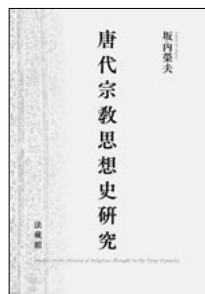
第一章 「修心」と「内丹」

第二章 『玄珠心鏡註』をめぐる人々

第三章 『玄珠心鏡註』に見える修心思想

第四章 『大道論』攷 ほか

ためし読み



法蔵館重版案内

◆中論講義 上

【2刷】【宗教】

立川武蔵著・四六判・328頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-2483-7

大乘仏教の思想的核となった『中論』。龍樹の論法とは、いかに形式論理学によるものだったのか。『中論』研究の泰斗が丁寧に解明。

■目次

第一章 因縁の考察—ものと生ずること—

第二章 運動の考察—歩く人と歩くこと—

第三章 感覚器官の考察—見るものと見られるもの—

第四章 構成要素(蘊)の考察—原因と結果—

第五章 元素(界)の考察—特質と特質づけられるもの— ほか



法蔵館刊行予定案内

〈2025年11月 刊行予定〉

◆三木清「親鸞」 法蔵館文庫

【宗教／哲学】

岩田文昭編・文庫判・248頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2711-1

なぜ三木清は親鸞を論じたのか。その死によって未完に終わった哲学に注を添えて復刻し、執筆に至る背景を物語るエッセイを併録。異彩を放つ親鸞論の真価に迫る決定版。

◆原典訳 マハーバーラタ 1 法蔵館文庫

【インド古典】

上村勝彦著・文庫判・496頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-2712-8

神々の血筋を引くクル王家の系譜と、一族を破滅へ導く大戦争への道のりを数世代にわたって描く大叙事詩『マハーバーラタ』。信頼すべきサンスクリット原典訳の待望の復刊。

◆般若心経の思想史

法蔵館文庫

立川武蔵著・文庫判・294頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2713-5

【仏教】

これまで多くの人々の心をつかんできた『般若心経』。本書ではその空思想が各地の文化的伝統に応じてどのように解釈され日本においていかに受容されたかを考察する。

◆その悩み、哲学者とお坊さんはこう答える

小川仁志・大來尚順著・四六判・138頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-8811-2

【仏教／哲学】

「どうすればやりたいことが見つかる?」「哲学や仏教は何の役に立つの?」等。哲学者と僧侶という「悩み」のプロの二人が、それぞれの立場から解決へのヒントを伝授。

◆原始天台教学の研究 ――章安灌頂の思想推求

日比宣仁著・A5判・642頁・8,800円・ISBN:978-4-8318-7797-0

【仏教】

智顗が大成した天台教学を弟子灌頂はいかに継承したのか。灌頂による教学伝受は後世にどのような影響を及ぼしたのかを踏まえ、二人の思想的相違を明らかにする。

◆なぜ鬼は虎皮のパンツをはくのか

――仏教のヨコ道ウラ話

石井公成著・四六判・240頁・予1,760円・ISBN:978-4-8318-5759-0

【仏教文化】

日常や日本文化のすみずみに潜む仏教の知恵や足あとを、ユルく味わう30章。読むと思わず誰かに話したくなる発見が満載の一冊。授業や講話・法話のネタ本に最適!

◆シリーズ仏典をひらく 教行信証 上

桐溪順忍著・四六判・336頁・2,530円・ISBN:978-4-8318-6703-2

【仏教／真宗】

真宗の根本聖典である『教行信証』を上・中・下の三巻で解説。別巻では教義上の諸問題を解説する。全4巻、復刊第1巻目の上巻は、教巻・行巻。

法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 10月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・440円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎巻頭インタビュー 伊左治佳孝(水中探検家)

潜るのは一人でも、みんなで探検を共有したい。

◎特集:アポリシヨニズム――今「魔」すべきこと

新連載

●地獄・極楽を読み解く――新解『往生要集』

●対話 生きづらいこの世界でも

ほか

◆大乘 10月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

・DAIJO 法話「間違えた道の先」……西村慶哉

・ご機言!お寺の掲示板……江田智昭

・結婚してお坊さんになりました「百通りの花」……前田純代

・なるほど仏教ライフ「デジタル教科書」……星 顕雄

・つながる医療と仏教……宮崎幸枝 ほか

◆図解 眠れなくなるほど面白い 仏教

——えっ、ホント？ 初耳学満載 仏教って、こんなに楽しい！

渋谷申博著・A5判・143頁・1,089円〈日本文芸社〉

仏教の誕生から、日本仏教の歴史と教え、お寺と仏像、葬儀の知識まで、超素朴な疑問から仏教の世界を楽しく解き明かします。イラストや図解を交えた61項目。はじめての人でも仏教の知識や教え、日本の文化がよくわかるエンターテインメント教養本です。

■目次

- 第1章 仏教の誕生——成立から中国伝来まで
- 第2章 日本仏教の歴史——独自に展開した教え
- 第3章 寺院・仏像・葬儀の基礎知識——現代の暮らしに息づく仏教



◆是枝監督の映画を仏教で語り直す

平岡 聡著・四六判・284頁・2,750円〈大法輪閣〉

世界的に有名な是枝監督のファンでもある著者が、監督の作品を仏教という視点から見直し、是枝作品の新たな魅力を探る!!

■目次

- プロローグ
- 第1部 作品を語り直す
- 第2部 テーマで語り直す
- エピローグ



◆人生というクソゲーを変えるための哲学と坐禅

ネルケ無方著・四六判・273頁・2,420円〈春秋社〉

哲学者永井均の大ファンである著者が、永井の哲学や瞑想についての文章、そして著者の四代前の師匠にあたり永井も仏教を超える価値を認めた内山興正の坐禅論を手がかりに、坐禅とは何か？ 坐禅がどうやって人生を変えるのか？ に迫る。

■目次

- 第一章 〈私〉の気づきと〈私〉の築き
- 第二章 「なんだ、おまえか!?!」——順タウマゼインと逆タウマゼイン
- 第三章 永井哲学と格闘しようとする僧侶
- 第四章 言葉と慈悲——菩薩としての永井均
- 第五章 二人称の永井哲学の可能性について
- 「あなた一人だけが特別!」 ほか



帰京後の親鸞—明日にともしびを12

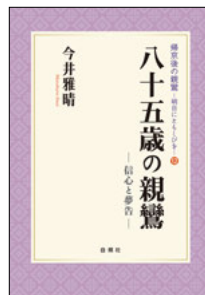
◆八十五歳の親鸞——信心と夢告

今井雅晴著・B6判・84頁・1,100円〈自照社〉

ようやく体調の衰えを周囲に語りはじめた親鸞聖人。前年から続けた『西方指南抄』書写や、書状を含めた聖人85歳の執筆・書写活動の内容から、この年2月の「信心の夢告」の意味を考察する。

■目次

- 1 京都と鎌倉の政治・社会・仏教界の動向
- 2 精力的な執筆・書写活動、および書状
- 3 『西方指南抄』が親鸞に与えた影響
- 4 親鸞、夢告の導きを得る
- 5 親鸞の執筆・書写活動



◆樂法

蜂屋賢喜代・岩見 護・蜂屋教正著、名倉 幹校訂
四六判・177頁・2,420円〈北樹出版〉

本書は、蜂屋賢喜代師一周忌を目前に、ご長男蜂屋教正師が昭和四十（一九六五）年に発刊されたものを、蜂屋賢喜代没後六十年記念として内容を校訂し、装い新たに復刊したものです。

■目次

聖人の恩徳を偲びて（蜂屋 賢喜代）
蓮如上人（岩見 護）
追憶（蜂屋 教正）
校訂者あとがき（名倉 幹）



ちくま学芸文庫ア-9-11

◆法然の手紙を読む

阿満利麿著・文庫判・331頁・1,430円〈筑摩書房〉

本書では、法然が熊谷直実のような武士から式子内親王、北条政子に至る人々に宛てた手紙を平易な訳文とともに紹介する。仏教を専門としない相手に書かれた手紙には、称名念仏による極楽往生こそ救いの道であることが、わかりやすくかつ論理的に説かれている。文庫オリジナル。

■目次

- 第一章 これで念仏が分かる！
- 第二章 「根本の弟子」は武士
- 第三章 死後を見定める
- 第四章 なにが念仏を妨げるのか？
- 第五章 権力者に答える



◆パーリ語初期韻文經典にみる 最古の仏教

並川孝儀著・四六判・286頁・4,180円〈春秋社〉

従来の研究では曖昧だった初期韻文經典と散文經典を明確に区別し、初期韻文經典の説示を通して、ゴータマ・ブッダや直弟子たちの最も古い仏教を考察し、韻文經典の段階で教理化が進んでいることを明らかにした画期的書。

■目次

- 第一章 四聖諦と三学
- 第二章 「苦しみ」と「苦しみの起こるもと」
- 第三章 「自己の存在に対する正しい自覚」の宗教的意義
- 第四章 修行法の展開——三学と三十七道品 ほか



◆空海の密教思想

竹村牧男著・四六判・270頁・3,080円〈青土社〉

空海の著作を丁寧にひもとき、説かれた言葉の真意をさぐりあて、密教思想の核心を発掘する。空海は世界がどのようにあると見ていたのか、その根本にある「大日如来の大智と大悲」とはなにか。その人間観、言語観、修道論などから、仏教研究の泰斗が、偉大なる巨人・空海の思想の全貌にせまる。

■目次

- 第一章 空海の生涯
- 第二章 顕教と密教
- 第三章 両部曼荼羅の諸尊
- 第四章 大日如来とは ほか



講談社学術文庫2878

◆比叡山

景山春樹著・文庫判・253頁・1,430円〈講談社〉

天台法華宗の根本道場にして、学山として数多くの高僧を輩出した比叡山。その3塔16谷の霊谷を案内しつつ、歴史地理というユニークな観点から、1200余年にわたる叡山の宗教と歴史をひもとく！本書は『比叡山 日本仏教の原型とその展開』（角川選書 1975年9月刊）を底本とし、文庫化にあたり、ベストセラー『京都ぎらい』の著者であり、国際日本文化研究センター所長・教授の井上章一による解説を加えました。

■目次

- 1 地文と人文のあやなす位置
- 2 霊峰比叡へはいる路
- 3 山上の霊所をめぐる路
- 4 最澄と比叡山 ほか



◆国家神道の現代史——天皇・神社・日本人

駒込 武・高木博志編・A5判・320頁・5,720円〈東京大学出版会〉

「国家神道」をめぐる様々な論争は近代・敗戦・戦後にいたる日本のかたちを経めぐってゆく。伊勢「参宮旅行」のツーリズム、地域社会と学校と神社……、私たちはいまだ「国家神道」が展開する磁場の中にいるのではないか。「隠された神」といま向き合う論集。

■目次

- はじめに 国家神道の現代史(高木博志)
- 総 説 国家神道の現代史、あるいは身体感覚としての天皇制(駒込 武)
- 第Ⅰ部 国家神道と皇室祭祀と神社
- 第Ⅱ部 国家神道と学校教育
- 第Ⅲ部 国家神道と象徴天皇制の現在 ほか



◆神々のクロニクル——神社と天皇の内実

片岡伸行著・A5判・207頁・2,640円〈新日本出版社〉

古代以来の神社の姿を取材すると意外に朝鮮半島から来た神々が多いことに気づきます。また「天孫降臨」神話も含め天皇の先祖がどこから来たかを探ると、やはり国際色豊かな諸説が。やがて見えてくるのは「伝統」を偽装して国策に利用し、戦争など国民に苦難を強いた国家権力の姿。今の私たちに問いかけてくる歴史紀行です！

■目次

- 第1章 伝統とは何か―「歴史的な内実」を見る
- 第2章 神社という「伝統」の正体
- 第3章 天皇と天皇制の内実
- 終 章 「未来の伝統」のために―自覚と自立の地平



◆日本の神々の歴史

島田裕巳著・四六判・256頁・2,200円〈同文館出版〉

古代史のみならず近代日本の歴史文化を読み解く上でも貴重なカギとなる日本の神々。その謎を紐解き、神々が辿ってきた複雑な歴史の道筋を明らかにしていく。気になる地域別・ご利益別の神社リスト付き。

■目次

- 第1章 八百万の神々とは？
- 第2章 日本人と神社信仰
- 第3章 神の「ご利益」を願う
- 第4章 神様を喜ばせる祭り
- 第5章 暮らしに身近な神々 ほか



NHKブックス1296

◆柳宗悦——美を生きた宗教哲学者

若松英輔著・B6判・337頁・1,980円〈NHK出版〉

民衆の日常で使われていた雑器を「民藝」と名付け、その美の中に「救い」を見出した柳宗悦。文学・哲学・宗教など様々な分野の人物と交流のあった柳の生涯と彼の代表作を時系列で追いながら、近年知られるような美術評論家としてではなく、宗教哲学者としての柳宗悦の全体像を描く。

■目次

第1部 前半生

第1章 柳宗悦の原点 一目には見えないもの

第2章 神の探究—宗教哲学という道

第3章 朝鮮の友へ—美は心と心をつなぎ直す ほか



◆新編 琉球の人文

柳 宗悦・宇田智子解題・四六判・261頁・2,970円〈春秋社〉

柳宗悦、河井寛次郎、濱田庄司によって「民衆の工藝」を略した「民藝」という言葉が新たに生み出されてから百年。『沖縄の人文(新装・柳宗悦選集第五巻)』(春秋社、1972年刊)を中心に「琉球の人文」に関する論考を新たに取捨選択し編み直した、沖縄の新たな魅力を伝える一冊。

■目次

序〔柳宗悦選集 第五巻〕

琉球の富

沖縄の文化

沖縄の民芸琉球の墓 ほか



◆軽装版 食えなんたら食うな——今こそ禅を生活に生かせ

関 大徹著・四六判・260頁・1,540円〈ごま書房新社〉

曹洞宗大教師が語る人生の意味。— この一冊は本物であり、人間の一生を創り上げるだけの力がある本だということである。本当にひとりの人間の人生を築くだけの力が、本書にはあるのだ — 執行草舟
実業家・著述家の執行草舟氏の最愛の書が、手に取りやすい造本と価格で再登場。

■目次

食えなんたら食うな

病いなんて死ねば治る

無報酬ほど大きな儲けはない

ためにする禅なんて嘘だ ほか



◆生と死の物語——古典・名作にみる〈この世〉と〈あの世〉

大角 修著・四六判・254頁・2,640円〈大法輪閣〉

近代の文学ではもっぱら現世の人生がテーマになった。しかし、人の来し方行く末をみるなら現世だけではすまない。おのずから死生観が問われる。この世のことだけが文学のテーマではない。本書は、古代から現代に至るまで、あの世につながる60話を収録。

■目次

はじめに——鎮魂の文学

飛鳥・奈良時代

『古事記』が語る他界

釈迦の前世と降誕 ほか



◆生き直しの楽我喜 法語

織田宗卯著・A5判・215頁・2,000円〈中外日報社〉

高校教員を定年退職後に得度、現在は岐阜刑務所・拘留所にて篤志面接委員としても活動する著者が、受刑者への教育活動・寺院での法話・各地での講演などのメモをまとめた「法語集」。

■目次

法語

一章 いのち—この不思議なるもの

二章 ころ—この得体の知れないもの

三章 すくい(本願)—この普遍的なはたらきをする輝き

短歌

四章 短歌—この三十一文字の心よきリズム ほか



◆数息観からの坐禅のすすめ

——法と禅、「二刀流弁護士」の半世紀

三宅 弘著・四六判・148頁・1,980円〈花伝社〉

10代から坐禅を始め、司法の第一線にありながら立法にもかかわってきた弁護士が長年実践してきた、「数をかぞえる」マインドフルネス=数息観。伝説の禅師・原田湛玄老師直伝の「真実の自己にめざめる」坐禅であらゆる難題を乗り越えて来た歩みと、その到達点とは。

■目次

【自己をならう編】坐禅と歩んだ 50余年

第1章 坐禅と歩んだ若き日々

第2章 坐禅と社会科学することとの二刀流の展開について

第3章 今、大拙湛玄老師に報告したいこと

【マインドフル実践編】『正しい坐禅の心得』を学び行ずる ほか



◆崇仏 蘇我一族の光と影

小嶋光昭著・四六判・180頁・1,650円〈郁朋社〉

6世紀半ばの欽明朝から7世紀初頭の推古朝・厩戸（聖徳）太子時代を中心とした蘇我一族の華麗なる飛躍と、仏教公伝で揺れた朝廷内の対立と仏教文化の芽生えを巡る空白の歴史を生き生きと再現し、その後の統治制度と仏教文化の開花へと繋がる躍動の時代を描いた無二の作品。

■目次

- 1 激動の朝鮮半島と蘇我一族
- 2 大伴、物部一族の暗躍
- 3 蘇我稲目の登場
- 4 戦乱の朝鮮半島と新羅の台頭
- 5 華麗なる蘇我一族の飛躍 ほか



◆平安貴族の和歌に込めた思い 続々

——小野小町 小野篁 醍醐天皇 藤原彰子 大式三位 赤染衛門 二条天皇

今井雅晴著・B6判・167頁・1,980円〈自照社〉

シリーズ続篇。絶世の美女といわれる謎多き歌人・小野小町、父・道長、弟・頼通の摂関政治全盛期をその人柄で支えた中宮・藤原彰子、「末の世の賢王」と期待されつつ夭折した二条天皇など、平安時代を生きた貴族7人の生涯をたどりつつ、残された和歌からその人物像や思いを探る。

■目次

- 1 小野小町～機知に富んだ和歌を詠んだ、「世界三大美女」の一人～
- 2 小野篁～学問・政治・漢詩・書・和歌に優れた豪快な人物～
- 3 醍醐天皇～三十三年に及ぶ意欲的な親政。『古今和歌集』を完成～
- 4 藤原彰子～道長の娘。優れた政治家で道長や頼通たちに慕われる～
- 5 大式三位～紫式部の娘。歌人として活躍～ ほか



別冊太陽 日本のこころ326

◆世界の呪術と民間信仰

——国立民族学博物館コレクション

島村一平監修、国立民族学博物館特別協力・A4変判・159頁・2,750円〈平凡社〉



◆季刊せいてん no.152

浄土真宗本願寺派総合研究所編・B5判・66頁・700円〈本願寺出版社〉

◆法語ポスター（法語カレンダー2026年版）

本願寺出版社制作・B3判・13枚一組・ビニール巻・1,100円〈本願寺出版社〉

特集1 智慧の扉をひらく——仏

仏教書販売研究会主催「仏教書フェア2025」法蔵館書店も開催中です。

今年は仏教の教えを分かりやすく伝える入門書、深い人生観を語る名著、高僧・名僧の伝記、心と体を整える瞑想や座禅、信仰の神髄である經典、癒しの仏像案内など読者の心に響く仏教書を集めました。

◆教行信証の哲学 法蔵館文庫

武内義範著、石田慶和・岩田文昭解説
文庫判・240頁・1,210円・ISBN:978-4-8318-2688-6〈法蔵館〉

親鸞の名著『教行信証』を、ヘーゲルやハイデッガーなど西洋哲学の知識を駆使して初めて哲学的に読み解いた記念碑的論考。親鸞思想を「哲学」として世に知らしめた、宗教哲学不朽の名著。



◆法華とは何か 法蔵館文庫

——『法華遊意』を読む

菅野博史著・文庫判・568頁・1,980円
ISBN:978-4-8318-2686-2〈法蔵館〉

古蔵『法華遊意』の全文講読。適宜に段落を設けて、的確な現代語訳を掲げ、訓読文と注を付すとともに、わかりやすい本文解説を施す。



◆中村元の仏教入門

中村 元著・B6判・207頁・1,760円〈春秋社〉

東方学院での講義録をもとに、インド学・仏教学の泰斗である中村元が仏教をやさしく解説。奥が深いのにわかりやすい、初心者にも最適な一冊。



◆現代訳 正法眼蔵 新装版

禅文化学院編・A5判・270頁・3,520円〈誠信書房〉

日本仏教が生んだ最高の聖典であり、日本精神文化の偉大な所産である正法眼蔵全95巻のうちから「現成公案」「山水経」など現代生活にかかわりの深い十数巻を抜粋し、現代人に理解できるように訳出した。

教の力で明日を生きる——

◆真言・陀羅尼・梵字——その基礎と実践

大法輪閣編集部編・四六判・206頁・1,980円〈大法輪閣〉

密教の聖なることば、「真言」と「陀羅尼」。そして、それらを書きあらわすための神秘的文字、「梵字」。その基礎的知識と具体的な実践法を、やさしく説き明かす。巻末の付録ページでは、密教のカテゴリーにおさまらない、様々な陀羅尼を紹介。



◆古典から学ぶ アーユルヴェーダ

——幸福な人生のために

クリシュナ・U・K 著・四六判・214頁・2,200円〈東方出版〉

5000年にわたり進化を続けてきたインド伝統医学＝アーユルヴェーダ。その古典籍である『チャラカサンヒター』をひもとき、アーユルヴェーダの基礎概念や健康増進法、食事、アンチエイジングの代表的なハーブなどを、日本で活躍するインド人専門医が解説する。

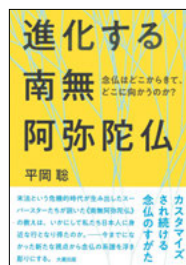


◆進化する南無阿弥陀仏

——念仏はどこからきて、どこに向かうのか？

平岡 聡著・四六判・267頁・2,420円〈大蔵出版〉

過去から現在の念仏の流れを整理することで、念仏の方向性を明らかにする。その方向を辿って現在の念仏が未来へ向かってどう進んで行くのかも見すえていく。終章では著者が念仏(南無阿弥陀仏)の将来の予想をも試みる。



歴史文化ライブラリー614

◆住職たちの経営戦略

——近世寺院の苦しい財布事情

田中洋平著・四六判・232頁・1,870円〈吉川弘文館〉

江戸時代、幕府の命で人々は仏徒となることを義務づけられ、寺は特権的立場を得たといわれてきた。だが内実、制度の恩恵外におかれ、火の車の零細寺院が無数に広がっていた。収入減と増える借金、資産処理をめぐる檀家との対立、先代住職の老後保障など、課題山積の経営状況を活写。寺の存続をかけ、地域を巻き込み展開した住職たちの苦闘に迫る。



特集2 「正倉院展」を楽しむために

古都・奈良に秋の深まりを知らせる正倉院展が、奈良国立博物館で10月25日～11月10日の会期で開催されます。一度は訪れてみたいと思いませんか？

正倉院宝物のことを少し勉強してから訪れると、なお楽しめることでしょう。

◆正倉院宝物を10倍楽しむ

山本忠尚著・A5判・306頁・2,970円〈吉川弘文館〉

奈良時代より1300年の時を超え、守り伝えられてきた正倉院宝物。聖武天皇ゆかりの遺品、異国風の工芸、シルクロードや唐からもたらされた文物まで、その内容は多彩である。メッキや代用の技法、天馬や麒麟(きりん)といった架空動物の意匠、象牙や翡翠(ひすい)などの素材から、めくるめく天平の美術を解説。



【中公新書 2744】

◆正倉院のしごと——宝物を守り伝える舞台裏

西川明彦著・新書判・248頁・990円〈中央公論新社〉

奈良時代、光明皇后が聖武天皇の遺品を東大寺大仏に献納したことに始まる正倉院宝物。落雷や台風、源平合戦や戦国時代の兵火、織田信長やGHQなど時の権力者による開扉要求といった数多くの危機を乗り越えてきた。古墳など土中から出土したのではなく、人々の手で保管されてきた伝世品は世界的にも珍しい。千三百年にわたり宝物を守り伝えてきた正倉院の営みを、保存・修理・調査・模造・公開に分けて紹介する。



◆正倉院宝物の構造と技法

西川明彦著・A5判・456頁・6,600円〈中央公論美術出版〉

永年宝物調査に携わってきた正倉院事務所長である著者が、文化財の一大宝庫である正倉院宝物の構造と技法を、科学分析と詳細な実態調査さらに文献史学的成果をもとに、600点を超える豊富なカラー図版で明らかにする。正倉院宝物のルーツに迫る。

(こちらの書籍は出版社品切れ、当店在庫僅少)



◆改訂 正倉院文書入門 法蔵館文庫

柴原永遠男著・文庫判・376頁・1,540円

ISBN: 978-4-8318-2698-5〈法蔵館〉

正倉院文書の中心をなす写経所文書。複雑極まりないその構造や基本用語・調査ツールなど、基礎中の基礎の部分から研究活用の事例までを第一人者が丁寧に解説。研究を志す人々にとってバイブル的入門書となっていた名作を文庫化。

お知らせ

法蔵館書店
協賛・出店

2025年度 中外日報「宗教文化講座」

テーマ:「いのちを育てる智慧に学ぶ——ネット時代を生きるために」

第4回:10月3日(金)「寺の未来」

臨済宗妙心寺派大本山妙心寺(京都市)管長:山川宗玄氏
(大本山妙心寺微妙殿(JR花園(京都府)駅(出口)徒歩12分))

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社 営業企画部(宗教文化講座事務局)

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、
ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)

〒601-8004

京都府京都市南区東九条東山王町9番地

TEL:075-682-1625 FAX:075-682-1722

Eメール: sbk@chugainippoh.co.jp

第20回 文化講演会

主催:日本書籍出版協会京都支部

日時:2025年11月1日(土)

14:30~16:00(受付開始14:00)

場所:京都教育文化センター

京都市左京区聖護院川原町4-13

※駐車場はございません

演題:「絵本を通して平和を考える
～アフガニスタンで出会った絵本」

講師:蓮岡 修(はすおか おさむ)氏

第20回 文化講演会
2025. 11/1 土
14:30~16:00 (受付開始 14:00)
京都教育文化センター
京都市左京区聖護院川原町4-13
※駐車場はございません

演題
「絵本を通して平和を考える～アフガニスタンで出会った絵本」
講師
蓮岡 修 (はすおか おさむ) 氏

●講師プロフィール
1973年島根県生まれ、真宗大谷派僧侶。
1999年よりベシヤワール会(故中村哲医師代表)入会アフガニスタンでの水源確保事業に参加、
その他、スリランカ・ベトナムでの難民支援・医療支援事業に参加、
2008年より子どもの本専門店「きんだあらんど」を継承。
2010年より京都市子育て支援つどいの広場事業に参画「どんぐり広場」、「かしの木」代表、
絵本カフェKINDERCAFEオーナー。
大学での非常勤講師を経て、現在は認定絵本士養成講座講師を務める。

●お申し込み方法●
●インターネットでの申し込み品券サイト
www.hozokan.co.jp/event/

●FAXでの申し込み品券書をお送り下さい。
受講料無料 定員300名
定員に達した場合は先着順で、受付完了の連絡、整理券等の配布はございません。
定員に達した場合のみお断りのご連絡を差し上げる場合がございます。

主催 日本書籍出版協会 京都支部
後援 京都市教育委員会 京都市社会福祉協議会

講師プロフィール

1973年島根県生まれ、真宗大谷派僧侶。

1999年よりベシヤワール会(故中村哲医師代表)入会アフガニスタンでの水源確保事業に参加、

その他、スリランカ・ベトナムでの難民支援・医療支援事業に参加、

2008年より子どもの本専門店「きんだあらんど」を継承。

2010年より京都市子育て支援つどいの広場事業に参画「どんぐり広場」、「かしの木」代表、

絵本カフェKINDERCAFEオーナー。

大学での非常勤講師を経て、現在は認定絵本士養成講座講師を務める。

〈注意事項〉

申込の受付は先着順で、受付完了の連絡、整理券等の配布はございません。

定員に達した場合のみお断りのご連絡を差し上げる場合がございます。

受講料:無料 定員:300名〈お申し込み方法〉www.hozokan.co.jp/event/

お申込みフォーム



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(9月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	儀式作法の心得 [新改訂版]	真宗大谷派大阪教区 出版会議編	真宗大谷派 大阪教区	440円
2	教行信証化身土巻講義 親鸞の出遇った世界—浄土真宗 V	平野 修述「平野修師講義集」 編集実行委員会編	真宗大谷派 大阪教区	2,530円
3	全編解説 浄土論註—社会環境による苦悩解決への道	菱木政晴	法藏館	13,200円
4	東西本願寺120のちがひ	鎌田宗雲	永田文昌堂	3,300円
5	現代語訳 六要鈔 【法藏館文庫】	柳瀬彰弘	法藏館	1,650円
6	正信偈にきく 南無阿弥陀仏のこころ(下)	廣瀬 惺	真宗大谷派 難波別院	550円
7	真宗大谷派 儀式軌範	儀式指導研究所編	東本願寺出版	3,850円
8	住職必携—真宗大谷派儀式作法	大谷制以知	法藏館	2,860円
9	語られた親鸞 【法藏館文庫】	塩谷菊美	法藏館	1,430円
10	正信偈にきく 南無阿弥陀仏のこころ(上)	廣瀬 惺	真宗大谷派 難波別院	550円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

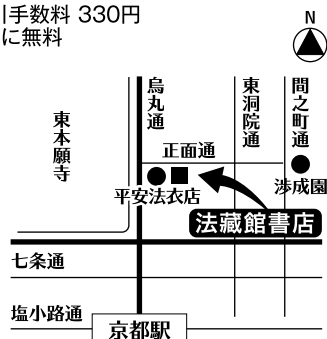
◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料—550円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

電話受付時間変更のお知らせ

2025年9月1日より、お電話の受付時間を変更させていただきます。
ご不便をお掛け致しますが、ご了承賜りますようお願い致します。

9月1日～電話受付時間：平日9時～12時、13時～17時



法藏館書店

住 所：〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話：075-343-0458 FAX：075-371-0458
発行人：西村七兵衛
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



〔営業日および営業時間〕

月～土：9:30～18:00
祝 日：10:30～18:00
(休業日：毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!